

熱川温泉病院 三浦 裕史（調理師／主任）

- 功 績** 土用の丑の日の職員食に鰻弁当の提供を企画し、実際の計画から当日の仕込みまで主導した結果、職員に大好評でアンケートでも高評価を獲得。コロナ禍で頑張っている職員のモチベーションアップに繋げた功績。
- 推 薦 者** 渡邊 あい（管理栄養士／栄養科科長代理）
- 推 薦 理 由** 三浦主任は普段から積極的に業務に取り組み、同僚の指導にもあたる大変頼りになる職員です。今回の職員食のイベントは彼のアイデアを実現したもので、職員向けアンケートの結果も予想より大幅に満足度が上がって驚いております。病院のため、そして職員のために自分ができることを考え実現した彼の行動は他の職員と模範となっておりますので是非理事長賞にご推薦申し上げます。

内 容

調理師の三浦主任は、栄養科が作る食事では職員を労い、仕事へのモチベーションを上げたいと考えていました。日常業務に患者さんやご家族向けのコロナ対応が加わり、さらに毎日の体温チェック、マスク・ゴーグルの着用、厳しい外出・外食ルールなど感染対策を順守してきました。そこで、職員向けイベント食として7月の土用の丑の日に合わせ、鰻をお弁当にして提供するアイデアを提案。栄養科内で具体的なメニューを話し合い、計画を実行することになりました。

普段の職員の昼食の申込み数は50食ほどですが、今回のイベント食を告知すると大きな反響がありました。外食がしづらい中で鰻を格安で食べられるとあって事前に100食以上の申込みがありました。三浦は急な申込み全てに対応し、食数と発注数の調整に難儀しました。さらに当日も朝から仕込みに大忙しで、スタッフへ適切な指示を与えながら自らも盛り付けに腐心し、いつもの倍の食数を用意しました。

職員からは「美味しいし、鰻の量が多くて驚いた」「副菜もヘルシーで良かった」と大好評でした。また、栄養科が実施している職員向けアンケートでは4月と比較し7月は「満足」「やや満足」が52.8%から69.5%に向上。「不満」「やや不満」も27.8%から4.3%に減少しました。

今回のアイデアは、昨年5月に理事長から全職員がお弁当を頂いたおかげで大変な時期を乗り切れたことがきっかけだったそうです。彼はこの結果に手応えを感じ、もっと喜んでもらえるよう次なるイベント食を計画しております。今回の三浦が企画したこのイベント食も多くの職員を笑顔にし、元気づけることができました。

